

平成23年度 宮崎県立西都商業高等学校 学校評価

本年度の重点目標

【自己評定 4：充分目標達成できた 3：おおむね目標達成できた 2：目標達成できていない 1：全く目標達成できていない】

評価項目	評価指標および具体的な数値目標	年間自己評価		本年度の反省と成果及び来年度へ向けての取り組み	関係者評価
		指標別	総合		
基礎学力の向上・自宅学習の定着に努める	授業時間の確保と充実	○授業時間の確保と調整を行い、年間授業日数200日(30週)以上を確保する	3	昨年度同様、こまめな変更を行い、月曜校時や学校行事による時間数の偏りをなくすことができた。来年度は、1学期中間テストまでの授業確保を優先的に考えて、行事予定の編成に努める。 来年度のシラバスはより生徒の実態に即した形での作成を考えていきたい。今年度は教育実習の関係で、授業公開時間を6月初旬に設定したが、来年度は実施時期の検討も必要である。 今年度は、英語科・数学科が中心となって日々課題および週課題を作って自宅学習時間の確保に協力してもらった。来年度も自宅学習時間調査・学習意識調査の結果をもとに各教科に協力を求めていきたい。 各教科でテスト対策プリントの作成をしてもらい、生徒のテストに対する意欲喚起をすることができたと感じている。来年度は定期テスト前の学習相談会のさらなる改善を行う。学習成果を実感することができている評価の改善にも努める。 11月に行った4分の1指導で生徒・保護者に早期に指導をすることで効果的に指導できたと感じている。また、学年主任および教育相談室とも連携し、早期に心配な生徒を把握して対応することができた。	3
		○授業の質的充実を図るために、授業公開時間を設けて授業改善を行い、実態調査で70%以上の満足度を得る	3		
	基礎学力の向上	○自宅学習の習慣を確立させ、毎日1時間以上の学習時間の定着を図る	2		
		○学習意欲の喚起を図り、定期テストでの欠点保有者の数を昨年同期のテストの欠点保有者数以下にする	2		
	時数不足者の解消	○出欠状況の把握に努め、欠課時数に関する指導を強化し、各学期における1/3を超える欠課時数を有する生徒を3名以下にする	3		
生徒の自己指導能力の育成・全教育	基本的生活習慣の確立	①時間厳守の徹底 集会時の集合時間内移動完了 ②規律遵守意識の醸成 問題行動10件以下	3	集合時間に遅れることはなくなった。継続して取り組み生徒が自主的に私語もなく整列するよう取り組みたい。問題行動が2学期になっても減ることはなかった。適宜注意を促し、防止に向けて積極的に取り組んでいきたい。 生徒会の取り組みも年々充実してきている。調剤祭においては良く頑張ってくれた。今後、リーダー研修会等を通して更に充実させ、生徒会が中心の学校づくりに発展させていきたい。 交通委員会が積極的に自転車小屋の整頓にあたり各点検を実施している。校内の自転車盗難については西都警察署と連携し盗難防止に向けて積極的な活動を行ってきたい。	3
	生徒会活動の活性化・充実化	①主体性ある活動の促進 生徒会役員、各種委員会による自発的取り組み ②各種専門委員会の活動充実 年7回の定例化と必要に応じた臨時委員会の開催	4		
	交通安全教育の充実	①定期的点検と呼びかけの充実 正門指導でのステッカー・整備状況点検実施 ②自転車・バイク通生集会を実施 安全教育と盗難0(ゼロ)、二重ロック完全実施を目指す。	3		
部組に織りこめし・計画進め、意識的進め、高め進め、進め指導を	キャリア教育の充実	・卒業生や3年生からのメッセージを聴いて進路について積極的に進めたか。(アンケート：80%以上の満足) ・学年ごとに進路ガイダンスを行い系統だった内容にし、キャリア教育に生かす。	3	○「卒業生からのメッセージ」では、パネルディスカッションを行ったことが新聞に掲載された。 ○2年生に電話の応対マナーの研修会を外務講師を招いて実施して、インターンシップのための企業への連絡を生かした。 ○次年度、キャリアアップキャラバン2012を計画し、外部講師を準備している。 ○高次資格取得課外は、「簿記」、「情報」、「英語」を実施しているが、継続的に頑張っている生徒がその努力の成果を出している。 ○校外模試(基礎力診断テスト、進路模試)を実施し、その結果を個人面談、家庭訪問、進路指導で活用している。 ○次年度5月に、3年生の「校外模試」を計画中である。 ○資料室の利用については、就職希望者及び進学希望者の全員が利用し、過去の受験報告書等を利用し、受験に活用している。	3
	進路指導体制の充実	・高次資格取得課外を実施し進路実現に生かす。 ・高次資格取得者(10人以上) ・校外模試(基礎力診断テスト)を実施し、その結果を進路指導に生かす。 ・校外模試(基礎力診断テスト)の結果を進路指導に生かせようか。(アンケート)70%以上の満足	2		
	進路相談の充実	・進学、就職それぞれの進路希望に応じた適切な進路相談の実施。(個に応じた的確な進路指導) ・資料室の自主的利用回数や自発的進路相談の回数を増やす。 (3年生対) 利用率80%以上	3		
環境の美化	環境の美化	・自ら責任を持って校内の美化に努める。 ・清掃レポート活動を実施し、清掃に対する責任感を育てる。 ・環境美化コンクールの評価で以上が70%以上。	3	・美化コンクールの実施で身の回りの美化を意識するようになってきている。清掃レポート活動では、全生徒が自ら積極的に美化に努めることができるように働きかける必要がある。 ・ごみの分別については、将来必要な生活態度として、意識して身につけさせる必要がある。 ・緑化活動においては、学年に緑化委員を置いて植栽後の管理に努めさせたい。 ・掲示物作成の際は3年生の保健委員を中心に、いきいきと積極的に取り組む姿が見られた。保健だより、性教育だよりは校内での保健行事の様子や、健康状況のデータの掲載や、地域の感染症の流行状況などを掲載して生徒や保護者に関心を持ってもらえるようなものにしたい。	3
		・の分別 緑化・及び 活動に取り組み 美化意識を高める。 ・緑化活動を学年毎に実施する。	3		
	委員会の育成	・保健委員会の育成と活動の進捗に努める。 ・保健委員会が作成した保健だよりの発行(毎月)。 ・トイレ点検に関する活動の実施(週1回)。	3		
朝の10分間読書の充実	朝の10分間読書の充実	読書指導の徹底 各学年遅者1日1名以内 者配100%	3	指導体制は定着し、職員全員で「朝読」にあたった。しかし、静かになるまでに時間がかかるクラスもある。読書の大切さを地道に説くことが必要である。 図書館内外での図書案内に努め、利用促進に効果があった。12月末現在の貸出冊数一人11冊を越えている。	4
	図書環境整備	図書の充実 貸出し冊数 一人 冊以上 環境整備 利用者数 生徒10人 職員 1日	4		
P T A 活動行事向上	各行事への保護者 者を やす P T A 総会 80%以上 学年での P T A 集会70%以上	2	2	総会の日を考する。 各会を充実させる案を P T A 役員とともに検討する。	3
業務の適正かつ効率的な執行	・ 会計事務の充実、強化 ・ 簿の適切な管理 ・ 職員の各種に係る適切な ・ 学校等の完 に向けての適切な、 促等 ・ 各部、学年、教科との連携強化 ・ 私 会計の充実、強化	3	3	会計事については適正な理がなされている。来年度も引き続き数人による相ックを徹底していく。 学校については、に期者に対し関係職員と連携を図り、電話による 促の回数をやした結果、改善のしがみられた。今後も、任教師をはじめ、できるりくの関係する職員と連携しながらを促していきたい。 私 会計についても、公と同様、相ックを徹底し、会計事務の充実、強化に努めたい。	3